



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 オーエム製作所
コード番号 6213 URL <http://www.omltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画管理部長
四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

(氏名) 山村 英司
(氏名) 佐脇 祐二

TEL 06-6350-1200

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 4,137 | △31.5 | 667 | △47.9 | 661 | △49.7 | 375 | △51.0 |
| 22年3月期第2四半期 | 6,043 | △31.1 | 1,282 | △40.7 | 1,314 | △39.3 | 765 | △39.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 11.84 | — |
| 22年3月期第2四半期 | 24.11 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 16,852 | 11,763 | 69.8 | 372.60 |
| 22年3月期 | 16,640 | 11,806 | 71.0 | 371.77 |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,763百万円 22年3月期 11,806百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | — | — | 10.00 | 10.00 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — |
| 23年3月期 (予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,300 | △19.5 | 1,460 | △31.0 | 1,450 | △32.3 | 880 | △17.6 | 27.81 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 33,200,000株 22年3月期 33,200,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,629,147株 22年3月期 1,441,676株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 31,704,193株 22年3月期2Q 31,760,414株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (第2四半期連結累計期間) | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国からの需要の増加や、政府による景気対策により穏やかな景気回復が続きましたが、株安や急激な円高、また雇用情勢の悪化など、依然先行きは不透明であり、景気の後退が懸念される状況となっておりまいりました。

このような状況の中、当社は第4次中期経営計画をスタートさせ、中期計画の柱である海外事業の促進について積極的に取り組み、平成22年7月に台湾にTAIWAN O-M CO., LTDを設立致しました。これにより、立型旋盤の一部について海外生産委託を行い、新興国向けに低価格汎用機の需要に応じてまいります。

また、22年4月に事業の再構築を行い、連結子会社のオーエムエンジニアリング(株)を長岡工場(新潟県)へ統合し生産効率の向上や固定費の削減に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,137百万円(前年同四半期比31.5%減)、営業利益667百万円(前年同四半期比47.9%減)、経常利益661百万円(前年同四半期比49.7%減)、四半期純利益375百万円(前年同四半期比51.0%減)となりました。

[一般機械の製造販売事業]

一般機械の製造販売事業につきましては、景気の先行き不透明感や製造業の海外生産移転により、企業の設備投資意欲は依然弱い中、建設機械業界や鉄道業界、航空機などインフラを中心とした業界へ立型旋盤の拡販に取り組んでまいりました。また食品、薬品業界へは、省エネ・省スペースの自動包装機械の拡販に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、3,548百万円、営業利益は、658百万円となりました。

[鋳造品の製造販売事業]

鋳造品の製造販売事業につきましては、工作機械業界、産業機械業界からの受注が一部戻りつつあるものの、価格競争は依然厳しく、固定費削減や生産の効率化に努めました。

この結果、売上高は、779百万円、営業利益は、34百万円となり、2年ぶりに黒字化となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、16,852百万円となり、前連結会計年度末と比べ212百万円増加しております。主に、売上債権の回収により、現金及び預金が増加したことによりです。

負債は、5,089百万円となり、前連結会計年度末と比べ255百万円増加しております。主に、棚卸資産の増加により、支払手形及び買掛金が増加したことによりです。

純資産は、11,763百万円となり、自己資本比率は69.8%と前連結会計年度末に比べて1.2%減少しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は5,943百万円となり、前連結会計年度末と比較して628百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,031百万円の収入超過となりました。主に、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権を回収したことによりです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、31百万円の支出超過となりました。主に、有形固定資産を取得したことによりです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、370百万円の支出超過となりました。主に、配当金の支払をしたことによりです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年10月13日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した数値に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

但し、当第2四半期連結累計期間において、オーエムエンジニアリング(株)の事業は、当社へ移管し業務を集約しております。尚、オーエムエンジニアリング(株)は現在、休眠会社であります。

また、当社が販売する立型旋盤の一部を生産委託するTAIWAN O-M CO., LTDを新たに設立し、連結子会社としております。尚、TAIWAN O-M CO., LTDは特定子会社に該当していません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却の算定方法は、年間の償却予定額を期間按分して計上しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,396 | 6,768 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,899 | 3,634 |
| 商品及び製品 | 219 | 176 |
| 仕掛品 | 1,263 | 958 |
| 原材料及び貯蔵品 | 77 | 60 |
| 繰延税金資産 | 186 | 285 |
| その他 | 189 | 172 |
| 貸倒引当金 | △11 | △11 |
| 流動資産合計 | 12,221 | 12,044 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,206 | 3,066 |
| 無形固定資産 | 42 | 46 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 489 | 579 |
| その他 | 893 | 917 |
| 貸倒引当金 | △0 | △14 |
| 投資その他の資産合計 | 1,382 | 1,482 |
| 固定資産合計 | 4,631 | 4,596 |
| 資産合計 | 16,852 | 16,640 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,585 | 1,396 |
| 短期借入金 | 1,765 | 1,765 |
| 未払法人税等 | 208 | 22 |
| 賞与引当金 | 243 | 273 |
| 製品保証引当金 | 73 | 103 |
| その他 | 999 | 1,026 |
| 流動負債合計 | 4,875 | 4,586 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 158 | 131 |
| 役員退職慰労引当金 | 23 | 48 |
| その他 | 31 | 67 |
| 固定負債合計 | 214 | 247 |
| 負債合計 | 5,089 | 4,833 |

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,660 | 1,660 |
| 資本剰余金 | 301 | 301 |
| 利益剰余金 | 10,260 | 10,202 |
| 自己株式 | △522 | △475 |
| 株主資本合計 | 11,699 | 11,688 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 66 | 120 |
| 為替換算調整勘定 | △3 | △2 |
| 評価・換算差額等合計 | 63 | 118 |
| 純資産合計 | 11,763 | 11,806 |
| 負債純資産合計 | 16,852 | 16,640 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 6,043 | 4,137 |
| 売上原価 | 3,745 | 2,587 |
| 売上総利益 | 2,298 | 1,550 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,016 | 882 |
| 営業利益 | 1,282 | 667 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 8 | 8 |
| 補助金収入 | 26 | — |
| その他 | 18 | 7 |
| 営業外収益合計 | 55 | 17 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14 | 14 |
| その他 | 8 | 8 |
| 営業外費用合計 | 22 | 23 |
| 経常利益 | 1,314 | 661 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 11 | — |
| 特別利益合計 | 11 | — |
| 特別損失 | | |
| ゴルフ会員権評価損 | 1 | 3 |
| 60周年記念費用 | 14 | — |
| 特別損失合計 | 15 | 3 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,310 | 658 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 458 | 179 |
| 法人税等調整額 | 86 | 103 |
| 法人税等合計 | 544 | 282 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 375 |
| 四半期純利益 | 765 | 375 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,310 | 658 |
| 減価償却費 | 228 | 291 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1 | △13 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △67 | △30 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | 21 | △30 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △20 | △3 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △28 | △25 |
| 受取利息及び受取配当金 | △10 | △9 |
| 支払利息 | 14 | 14 |
| 為替差損益(△は益) | △0 | △0 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | △11 | 0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 1,235 | 735 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 47 | △365 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △898 | 188 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △88 | △75 |
| その他 | △50 | △318 |
| 小計 | 1,680 | 1,015 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10 | 9 |
| 利息の支払額 | △14 | △14 |
| 法人税等の還付額 | — | 27 |
| 法人税等の支払額 | △681 | △8 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 994 | 1,031 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △300 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △312 | △26 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 12 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △11 | △7 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1 | △1 |
| その他 | 7 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △604 | △31 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △6 | △7 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △46 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | — |
| 配当金の支払額 | △473 | △316 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △480 | △370 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △89 | 628 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,401 | 5,315 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,312 | 5,943 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | 一般機械の 製造販売事 業 (百万円) | 鋳造品の製 造販売事業 (百万円) | その他の事 業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全 社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|------------------------------|-------------------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 5,594 | 313 | 135 | 6,043 | — | 6,043 |
| (2) セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 0 | 292 | 6 | 299 | (299) | — |
| 計 | 5,594 | 606 | 141 | 6,342 | (299) | 6,043 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 1,332 | △68 | 8 | 1,271 | 10 | 1,282 |

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | 北米 | アジア | 欧州 | その他 | 計 |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|-------|
| I 海外売上高(百万円) | 85 | 512 | 2 | 0 | 600 |
| II 連結売上高(百万円) | | | | | 6,043 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 1.4 | 8.5 | 0.0 | 0.0 | 9.9 |

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、生産設備に関する機械の製造、販売を中心に事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部及び事業会社を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「一般機械の製造販売事業」及び「鋳造品の製造販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

「一般機械の製造販売事業」セグメントは、生産設備用の機械製品の製造販売を行っております。「鋳造品の製造販売事業」セグメントは、鋳物製品の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 |
|-----------------------------------|---------------------|--------------------|-------|--------------|-------|--------------|---------------------------|
| | 一般機械 の製造 販売事業 | 鋳造品 の製造 販売事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,548 | 445 | 3,993 | 143 | 4,137 | — | 4,137 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | — | 333 | 333 | 3 | 337 | △337 | — |
| 計 | 3,548 | 779 | 4,327 | 146 | 4,474 | △337 | 4,137 |
| セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△)) | 658 | 34 | 693 | △2 | 691 | △23 | 667 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガソリンスタンド、ゴルフ練習場等のレジャー関連事業及び休眠会社を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。